



山本芳照 議員

地域医療の要である海南病院の  
診察待ち時間解消を

問

地域医療の要である海南病院について聞く。

(1) 私は23年9月に入院した。点滴注射針の交換時、注射針が刺さらず5人看護師が替わり、針8本が使用不能になった。

看護師の技術は、きちんと教育されているか。

(2) 23年10月、正午の診察予約で診察は午後2時30分に呼ばれた。遅れている理由の説明もなく、客を大事にしようという気がない。なぜ外来患者は、30分以上待たされて当たり前前の現状になっているのか。

患者の集中を根本的に解決できない

答 健康推進課長

(1) 同院から「日夜レベルアップに努め、安全・安心な医療体制の構築を目指している。指摘を真摯に受け止め、精進していく」との回答を得ている。

(2) 同院から「25年に電子カルテシステムを導入予定だが、患者集中と重症患者対応による遅れは、根本的に解決できない。かかりつけ医も利用してほしい。意見は真摯に受け止め、患者と信頼関係を築くことを目指す」との回答を得ている。

津波避難施設は有事に上れるか

問

緊急時避難マップ(関連記事5・15画)について聞く。

(1) 白鳥学区は「津波・高潮



緊急時避難場所」として3施設が指定されている。人が集中したとき、屋上に上がることはできるのか。

(2) マップの見方等、説明会を計画しているか。

現地確認済みの施設を指定した

答 防災安全課長

(1) 現地確認し、屋上へ上がれる施設を指定している。

(2) 学区別の説明会は想定していない。

3カ所、希望のあった自主防災組織訓練等に出向き、

説明した。今後も希望があれば積極的に参加したい。

白鳥学区防災広場の具体化はいつか

問

白鳥学区の防災広場は、いつ計画を具体化するのか。

今後、どんな施設がよいか検討する

答 総務部長

2年半前、防災広場を進める予算を決定したが、候補地の用地交渉がまとまらず、22年度白紙にした。

東日本大震災から、防災広場をどう(整備)すべきか、転換期に来ている。栄南学区に避難所を兼ねた集会施設(関連記事10画)をつくる。(白鳥学区は)今後どういう施設がいいのか勘案しつつ、順番も海岸線に近い場所(の優先)とか、そういった状況である。